

2024年3月21日

PTA会員各位

調布市立神代中学校
PTA会長 遠藤 晃弘

2023年度PTA臨時総会の結果報告

PTA臨時総会は、2024年3月19日メ切でご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。その結果について、下記のとおりご報告いたします。

記

議決結果

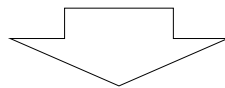
- 会員数817名、総投票数 545票（うち有効票数 511票、無効票数 34票※）
- PTA臨時総会は、全会員の2分の1以上の表決書（Web投票）をもって成立。
- 各議案は、表決書（Web投票）の提出者の過半数をもって可決。

※二重投票、夫婦で投票、非加入者の投票などを除外

議案	賛成	反対
第1号議案	505	6

上記のとおり、議案は、過半数の賛成をもって可決されました。

以上



PTA を抜本的に見直す方向性が支持されましたので、次年度は、現行の会則に則った PTA 運営（加入意思確認と会費の徴収など）を一旦見合わせます。新年度が始まったら、スクール・サポート・コーディネーター（仮称）を募集し、その方々を中心に、4 月からはじまるコミュニティ・スクールと歩調を合わせ、1 年間かけて、よりよい保護者協働のあり方を検討していきます。

皆様のおかげで、PTA 組織をリセットし、ゼロベースで新しいあり方をともに考えていくテーブルを整えることができました。ここから先は、少し時間をかけて議論をつくしていきたいと考えておりますので、ご意見やお考えのある方は、ぜひスクール・サポート・コーディネーター（仮称）として、お力添えをいただきたく存じます。保護者の皆様におかれましては、これまでと変わらぬご支援を何卒よろしく願います。

神代中学校PTA本部

jindai.pta2023@gmail.com



議案に対して PTA 本部に寄せられたコメント

全ては紹介しきれませんが、今後のために紹介しておいた方がよいと思われるものを要約して、掲載させていただきます。

【賛成の方】

- 抜本的な改革に感謝。模索しながらの改革は不安もあると思うが、進めていくしかない。子供は卒業するが地域の一員として何か協力できたらと考えている。
- 候補がいなかったらスクール・サポート・コーディネーターをやるうと考えている。
- 機会があれば何か役に立ちたいと思いつつ、会費を納めるくらいしかできていないのだが、見直し案に賛同。
- 動画や議案を読んで組織は理解できたが、具体的な内容がわからないため、少しずつ理解していきたい。
- 出来る範囲で関わりをもって協力していきたい。その結果、楽しければなお良い。
- コーディネーター＝PTA 本部役員になってしまう気がするが、より良い方法を考えるの議案だと思うため、この方針に賛成。
- いろいろと問題はあと思うが（PTA の在り方が）変わっていく時期だと思うので、試行錯誤しつつ進んでいけば良い。
- PTA の見直しは大賛成。今年度のように、役員になるのは難しいけれど子どもたちのためにスポットでのお手伝いは参加しやすい。ただ、スクール・サポート・コーディネーターを決めるのが大変なのではないか。結局のところ本部役員のようなことを担って、今年度のように責任や負担が集中的にいつまわらないか心配。どうやって決めるのか、決まらなかったらどうするのか。ただ、現状では回らない PTA を改革していくのは必要。神代中学校がより良い方向に進んでいけるよう祈っている。
- 時代の流れから旧体制の変革の時期に入り、取りまとめにかなりパワーが必要だったと察するが、良い方向に向かっていていると思う。
- これはこれで、一步前進で良いと思うが、取り仕切る組織を外部委託できるようなシステムは無いものか（相応の予算は必要）。
- 地域ボランティアの皆さま方には、毎朝の見守りや清掃活動、夏祭り等、既に日頃よりお世話になっており感謝している。この場を借りてお礼を言いたい。
- 考え方としては賛成。スクール・サポート・コーディネーターをどうやって決めるのか。学校運営協議会（CS）との連携などが重要になりそうなので、そこがより具体的になる（PTA 役員とどう違うのか）と良い。

【反対の方】

- まだよくわからず納得しきれていないため賛成とはいえず反対。CS の委員は保護者が選出、任命するわけではなく、必ずしも CS に保護者の意見が反映されるわけではないのでは。保護者の意見を反映させる組織として（学校と何か協議する窓口としても）PTA の存在意義はまだあるのではないか。スクール・サポート・コーディネーターは PTA 役員と似た役割を担うものの、PTA のように総会の議決を介して会員の意思を反映させた組織ではなく、会計監査等もないため、業務内容が適正に行われているのか見守る術がない。逆に権限、その根拠もないため、運営のイメージがわからない。ボランティアの人たちをとりまとめる必要は役員と同じでやはり負担はあるので、役員とそう違わないのではないか。将来的にそのようなやり方に移行するにしても、もう少し時間をかけて、会員で議論を尽くして（少なくとも議論を尽くすだけの機会を与えて）変更していく方が望ましい。
- 気軽に関わられるようになるというコンセプトは良いが、メリットのみか。分からないことがあるため反対に投票。CS についての調布市動画を視聴したが、他自治体の発言によると教員（特に副校長）の負担軽減にはなりそう。地域移行の「地域」とは誰を指すのか。親が仕事以外の大切なことに時間を配分できるようにするには社会の変化が必要。スクール・サポート・コーディネーターは教員が抜けた状態で学校側と調整がうまく行くのか。保護者の要望と学校の考えと齟齬が生じた場合、丁寧な話し合いの場を責任を持って市が設置するのかが疑問。スクール・サポート・コーディネーターに教員も入ることはできないのか。議論がもう少し必要。
- PTA 制度の見直しには賛成（一部の方への負担がかかることも問題）。しかし、コミュニティ・スクール導入に関しては、まだその利点を理解できていない。スクール・コーディネーターと名前が変わっても、一部の人間に負担がかかることに変わりはないのではないか。学校運営協議会の権限や役割もいまいち具体的に見えていない。よって、コミュニティ・スクール導入に伴う PTA の抜本的な見直し、という議案には賛成しきれない。学校運営に、保護者、教員、生徒自身が参画できる仕組みがないことが問題。学校と保護者、そして地域との共同を考えるのであれば、そこに当事者である生徒も入った協議会を期待する。（中略）もう少しコミュニティ・スクール導入による具体的な良い点を知った上で議論の場を作っていただき、その上で判断したい。

●小さい子がいるので何も協力出来ず申し訳なく思っていたが、改革により、出来るようになったらやれば良くなり、心の負担が軽くなった。

●現在の PTA メンバーの皆様が最善と考える選択を支持する。

●親の参加の仕方やニーズが変化しているので、協力できるところに参加するかちは良い。なかなか普段の PTA 活動に参加する機会が持てないことには、心苦しく思っている。

●これまでの PTA の活動は専業主婦が大多数いた時代のものがそのまま踏襲されているように感じていた。今回の改革に敬意を表したい。

貴重なご意見をありがとうございました。

神代中学校PTA本部

jindai.pta2023@gmail.com